

# 2004 年度 経済原論 : 期末試験

2005 年 1 月 26 日 ( 水 ) 実施

## < 解答・採点基準 >

### [第1問]

消費者余剰と生産者余剰。( 各 2 点 )

社会的余剰。( 1 点 )

供給曲線のシフト。( 4 点 )

取引量と価格。( 各 3 点 )

消費者余剰と生産者余剰。( 各 2 点 )

税収と死重損失。( 各 3 点 )

### [第2問]

企業など。( 5 点 )

ゴミ処理業者、産廃業者など。( 5 点 )

供給曲線と需要曲線の図示。( 各 5 点 )

負の価格。( 5 点 )

### [第3問]

限界費用 =  $2X$  ( 5 点 )

利潤最大化の条件 :  $P=2X$  ( 利潤 =  $PX-X^2$  より ) ( 5 点 )

言葉による説明や数値例からの導出は 5 点のみ。

上式より  $X=50$  ( 5 点 )

利潤の式より、 $100 \times 50 - 50^2 = 2500$  ( 10 点 )

注： を使わずに を数値例から計算した場合は 3 点、 5 点。

答えだけの場合には 2 点、 3 点。

### [第4問] 以下のケースでは、市場の失敗が発生することを簡潔に説明しなさい。

外部性の存在により、社会的限界費用 ( 便益 ) と私的限界費用 ( 便益 ) が乖離すること。( 5 点 )

個人は私的限界費用 ( 便益 ) をもとに行動するので、市場均衡は最適とならないこと。( 5 点 )

消費の非競合性 ( 共同消費 ) の記述。( 5 点 )

排除不能性の記述。( 5 点 )

上の性質より過少供給やフリーライドが起こる。( 5 点 )